

安全保障理事会議長声明

「コート・ジボワール情勢」と名付けられた議題に関する安保理の審議に関連して、2009年9月29日に開催された安全保障理事会第6193回会合において、安全保障理事会議長は、安保理を代表して以下の声明を発した。

安全保障理事会は、ワガドゥグ政治合意および2009年11月29日の公開、自由、公正かつ透明な大統領選挙の第一段階に導くあらゆるコート・ジボワールの主要な政治関係者により是認された選挙予定表に対する安保理の全面的な支援をくり返し表明する。安保理は、コート・ジボワールの和平プロセスを支援する継続的努力に対し、仲介者、ブルキナ・ファソのブレイズ・コンパオレ大統領を賞賛する。

安全保障理事会は、信頼に値する選挙プロセスに安保理の完全な支援をもたらす安保理の決意をさらにもくり返し表明し、コート・ジボワールの市民社会の包括的な参加の重要性を強調する。この目的のために安保理が安保理決議1880(2009)において国際連合コート・ジボワール活動(UNOCI)の職務権限を延長しまたその部隊のレベルを維持したことを強調する。安保理は、この決議において事務総長に国際連合リベリアミッション(UNMIL)とUNOCIとの間で、必要に応じて、部隊を再展開する権限を与える安保理の意図を表明したことを更に強調する。

安全保障理事会は、暫定的な有権者名簿の発表の遅延にその懸念を表明し、また、有権者名簿の発表の更なる遅延は、公開、自由、公正かつ透明な大統領選挙の予定表に危険をもたらすであろうことを強調する。

安全保障理事会は、コート・ジボワールの政治関係者が選挙予定表を尊重する義務があることをくり返し表明する。安保理は、透明性のあるかつ包括的なプロセスの枠組内でできる限り速やかに有権者名簿を発表できるように、コート・ジボワールの全ての関係者が彼らの公約を完全に遵守することを促す。安保理は、事務総長特別代表が有権者名簿を明確に保証することを想起する。

安全保障理事会は、2009年10月15日までに情勢を再検討する。安保理は、安保理決議1880(2009)に一致して、選挙プロセスの進展を妨げるものに対して、適切に反応する安保理の意図を表明する。

安全保障理事会は、10月15日までにUNOCI職務権限およびとりわけ選挙プロセスの進展を考慮して活動に幕を下ろすことが可能となる達成条件を再検討することによりその将来の方向性を検討し始める安保理の意図を更に表明する。